

従来の特定健診や特定保健指導など、身体の疾病予防に加えて、就労者の精神疾病予防事業を新たに実施し、加入者の健康保持増進に努めます。

▼防災体制の充実

防災体制の充実については、近年多発している風水害など多様化する災害や北海道胆振東部地震における課題検証を踏まえ、各種計画やマニュアルの見直しを行うとともに、総合防災訓練を通じて市民の防災意識向上と地域防災力強化に努めます。

また、防災行政無線のデジタル化に向け、効果的で最適な情報伝達手段の構築に努め、市民への情報発信強化を図ります。

▼まちなかの活性化

まちなかの活性化については、CAP（まちなか再生総合プロジェクト）プログラムパート3の最終年度として、子育て世代と連携を図り、子ども・子育て世代居場所づくり事業をまちなかで展開するなど、幅広い世代のまちづくり活動への参加を促し、日常的なにぎわいの創出に取り組みます。

また、駅前イルミネーション事業を継続することにより、明るく歩きやすい駅前ゾーンを形成し、市のイメージアップを図るとともに、周辺の商店街などとの連携を深め、まちなかのにぎわい創出につなげます。



2 地域経済をけん引する力強い産業の展開

▼企業立地の促進、港湾整備とポートセールスの推進

企業立地の促進については、立地企業のニーズに応じた助成制度の見直しを図ります。

特に食関連産業については、農水産物の付加価値創出に向け、関係企業・団体と連携し、高度な加工技術を有する企業の誘致を推進します。

港湾整備については、国内物流の機能強化と安定性確保のため、複合二貫輸送ターミナルの整備や水産物の流通・生産力強化・高付加価値化に資する屋根付き岸壁の整備を進めます。

また、国際コンテナターミナルにおいて、さらなる国際競争力向上を目指した施設整備を進め、ロジスティクス機能の強化に取り組みます。

▼雇用・労働環境の整備・充実

雇用・労働環境の整備・充実については、就職マッチングサイトを開設するとともに、首都圏などで合同就職説明会を開催し、企業の人材確保を支援します。

また、女性や若者などを対象に、就業支援を継続するほか、緊急雇用対策事業を実施し、雇用の創出・確保に努めます。働きやすい職場づくりの実現に向けては、企業に対して、従業員の定着率向上につながる支援を行います。

さらに、将来を見据えた成長戦略として、IR(カジノを含む統合型リゾート)

をはじめとする臨空ゾーンにおける国際観光リゾートの実現にチャレンジし、新規雇用の創出につなげます。

3 地域で活躍する“ひと”を育むまちの形成

▼地域福祉の推進

地域福祉の推進については、誰もが住み慣れた場所で、心豊かに安心して暮らせる社会を目指し、福祉、教育などの関係団体や地域の皆さんと連携して課題の早期発見・解決に取り組み、共に支え合い、助け合える地域づくりを進めます。

4月には、子ども家庭総合支援拠点として、子ども家庭総合支援拠点として、市役所本庁舎内に設置するとともに、今後、開設が予定されている室蘭児童相談所分室と緊密に連携した相談・支援が行えるよう、両機能を有する児童相談複合施設の整備を進め、児童虐待を含む児童相談体制のさらなる強化を図ります。

▼子育て支援の充実

子育て支援の充実については、みその・しみず保育園の統合のほか、認定こども園への移行や老朽化解消のための施設整備を実施し、待機児童の早期解消と質の高い特定教育・保育環境の充実に取り組みます。

また、多子世帯への保育料無償化の継続や、8月から乳幼児等医療費助成制度における入院の対象を中学生まで拡大するほか、産婦健康診査の費用助成を開始するなど、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

ひとり親家庭の自立促進に向けては、

母子家庭等自立支援給付金支給事業の制度拡充などを通じて、仕事と子育ての両立をサポートし、生活の安定と子どもの健やかな成長につなげます。

▼市民スポーツの推進

市民スポーツの推進については、はつらつママさんバレーボール事業を実施し、元日本代表選手と地元ママさんチームの親善試合などを行います。

また、パラスポーツの体験会を開催するなど、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)・東京2020パラリンピック競技大会に向けて、市民の機運を高めます。

さらに、緑ヶ丘公園サッカー場の夜間照明設備の新設工事を進めるなど、利便性の向上を図り、スポーツによる活気あるまちづくりを促進します。

主要施策

- ① 共に支え合い 健やかに暮らすまち
- ② 明日を拓く 力みなぎる産業のまち
- ③ 学ぶ喜びがあふれる 文化の薫るまち
- ④ 自然と環境にやさしいまち
- ⑤ 安全・安心で 快適に暮らすまち

以上の5つのまちづくりの目標に沿って施策を進めます。